

## 平成 21 年度当初予算 施策別概要

### 4 4 3 エネルギー対策の推進

- 44301 地球にやさしいエネルギー対策の推進（政策部）
- 44302 電力・エネルギーの安定供給（政策部）

（担当部：政策部）

#### < 施策の目的 >

（対象）地域資源であるさまざまなエネルギーが

（意図）適切な組み合わせのもとに利用され、安定的に供給されている

#### < 施策の数値目標 >

施策目標項目（主指標）		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
新エネルギーの導入量 （原油換算）	目標値	-	214,000kl (H18)	230,000kl (H19)	246,000kl (H20)	278,000kl (H21)
	実績値	206,257kl (H17)	225,722kl (H18)			

県内における新エネルギー導入による従来型一次エネルギー（石油・石炭等）の原油換算削減量。平成 22 年度の目標値は、平成 23 年度春に把握できる平成 21 年度の実績数値により測ることとします。

県の取組目標項目（副指標）		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
新エネルギービジョン策定 市町数 （累計）	目標値	-	13 市町	16 市町	19 市町	22 市町
	実績値	10 市町	12 市町			
水力発電の年間供給電力目 標の達成率	目標値	-	100%	100%	100%	100%
	実績値	94.5%	70.6%			

#### < 進捗状況（現状と課題） >

- ・ エネルギーの安定供給確保、地球環境問題への対応などの課題を考慮したうえで、効率的なエネルギー供給システムの確保の要請が強まっています。新エネルギーや水力発電は、エネルギー自給率を向上させるとともに、発電過程において二酸化炭素の排出がない、あるいはほとんど排出されない、地球温暖化対策に貢献するエネルギーとして期待されています。また、これらのエネルギーは地域の特性と密接な関係にある資源であることから、それぞれの地域の実情に応じた導入や利用を計画的に進めることが必要です。
- ・ 新エネルギーは、出力の不安定や高コスト等の課題があることから、その導入を更に促進するには、県民、事業者、市町の新エネルギーに対する理解を一層深めていくことが必要です。
- ・ エネルギーの安定供給や資源の有効利用の観点から、既存水力発電所の効率的な運営、および三重ごみ固形燃料発電所の安全で安定した運転を行っていく必要があります。

#### < 平成 21 年度 of 取組方向 >

新たな国の住宅用太陽光発電施設補助制度を踏まえ、県民等への情報提供、普及啓発活動の

促進、新エネルギーの導入支援に取り組むとともに、市町に新エネルギービジョンの策定を積極的に働きかけます。

電力・エネルギーの安定供給に対する住民や市町の理解を深めるため、発電用施設周辺地域や石油貯蔵施設周辺地域の市町における地域振興や住民福祉向上のための公共施設整備等への交付金の活用に取り組みます。

水力発電事業については、安定的な供給を維持するため、施設の適切な管理運営、計画的な改良修繕工事を実施するとともに、民間への譲渡に向けて取り組みます。

水力発電事業の譲渡後の諸課題解決や宮川流域の産業振興等については、庁内部局横断的な検討組織として設置した「宮川流域振興調整会議」で取り組みます。

三重ごみ固形燃料発電所については、引き続きRDFに対する安全対策に取り組み、安全で安定した運転を行なうとともに、効率的な施設の運用を行い、収支の改善に努めます。また、平成29年度以降のあり方について、関係市町と協議を進めます。

#### <主な事業>

##### (舞)(新)新エネルギー普及促進事業

【基本事業名：44301 地球にやさしいエネルギー対策の推進】

予算額：(20) 千円 (21) 12,810千円

事業概要：市町とともに普及啓発事業に取り組み、市町や事業者等が実施する小規模な新エネルギー設備の導入に対して支援し、新エネルギーの導入を促進します。

発電用施設周辺地域振興事業費補助金【基本事業名：44302 電力・エネルギーの安定供給】

予算額：(20) 250,000千円 (21) 300,000千円

事業概要：電力の安定供給に対する地域の理解を深めることを目的として、市町が実施する企業導入、産業近代化及び教育文化施設の整備等に対し、その経費の一部を補助します。

水力発電事業【基本事業名：44302 電力・エネルギーの安定供給】

予算額：(20) 1,824,329千円 (21) 1,827,766千円

事業概要：自然エネルギーである水力を利用した電力を安定的に供給するため、施設の適切な管理運営と計画的な改良修繕工事を実施します。

三重ごみ固形燃料(RDF)焼却・発電事業

【基本事業名：44302 電力・エネルギーの安定供給】

予算額：(20) 1,031,388千円 (21) 1,267,580千円

事業概要：ごみの持つ未利用エネルギーを有効利用するため、焼却・発電施設や貯蔵施設の適正な運用を行なうとともに、RDFの品質管理を徹底するなど、引き続き安全対策に取り組み、安全で安定した運転を行ないます。